



CHATERED ON NOVEMBER 21, 1955

2019年5月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(YMCA561)5217

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

Leadership Training リーダーシップトレーニング

国際会長
アジア会長
東日本区理事
北海道部部长
札幌クラブ会長

— 主 題 —
「Yes, We can change」
「Action」「アクション」
「為せば成る」
「その先のワイズへ」
「楽しいワイズ」

Moon Sang Bong (韓国)
田中 博之 (東日本)
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
二本松能敬 (北見)
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員
会長 柴田 伸俊
副会長 伏木 康
書記 小野 健
会計 秋葉 聡志
直前会長 柴田 伸俊

今月の聖句

空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもし内部。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってください。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。
マタイによる福音書 6章 26節 中田 靖泰選

「内向時間」「外向時間」

北海道部次期部長 宮崎 善昭



内向時間とは、自分の内側にむけてエネルギーを流す時間のことです。外向時間はこれと反対にエネルギーを外に向けて流す時間のことです。私たちは日常生活の中で意識・無意識を問わず、外向時間が圧倒的に多くの割合を占めており、内向時間はほとんど意識の上にはあがらないのではないのでしょうか？

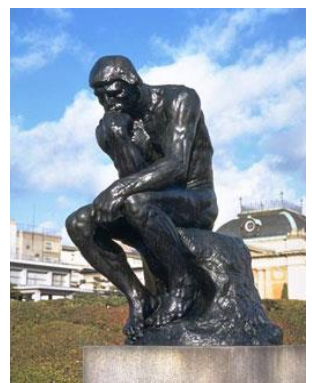
外向時間は、毎日、社会において周りの人たちとある時は共有しながらの活動に使いながら、目標達成(日常的なこと、組織の目標など)のためにエネルギーを注ぎ込んでいきます。エネルギーの多くの時間を外向時間に使用していることは、エネルギー逓減法則に基づけばどこかで補充しない限り最後は0になってしまいます。このことをバーンアウト(燃え尽き症候群)と言ったりします。古今東西、休養は必要であることは言われていますが、私たちは休養と称した活動をするに当たり、それは本当に自分にとって休養になっているのかどうかを考えて見なければならぬのではないのでしょうか？かえってその活動をすることでストレスがたまり、身

体的に疲労しているという外向時間になっているなんていうことになっていないのでしょうか？

内向時間とは、自分の内側にむけてエネルギーを流す時間のことです。外向時間はこれと反対にエネルギーを外に向けて流す時間のことです。私たちは日常生活の中で意識・無意識を問わず、外向時間が圧倒的に多くの割合を占めており、内向時間はほとんど意識の上 内向時間は、あくまでも自分ひとりの時間です。散歩する、家庭菜園など植物を育てる、

運動する、読書する、絵を描く、瞑想するなどの様々な活動を通して自分自身と会話し内省する時間であり、エネルギーの補充を図る時間です。こうして蓄えられたエネルギーを外向時間に向けていくのです。

私たちの日々の営みにとっては、この二つの時間のバランスをとることが大変に重要であると思います。「日々新たな者になる。」とは、具体的にこのようなことを指しているような気がします。



2019年2月例会
出席報告

在籍会員 8名 例会出席 5名 ネット 0名 コメント 0名 メーキアアップ 0名
ゲスト(卓話者) 1名 ビジター 0名 計 6名 出席率 63%

札幌ワイズメンズクラブ 2019年5月例会

日時： 2019年4月16日（火）18:30～20:30

場所： 北海道YMCA 101教室

札幌市中央区南11条西11丁目

☎ 011-281-2511

会費： 1,000円

プログラム

- | | | |
|-----------------|---------|---------|
| | 司会 | 伏木 康 |
| ① 開会点鐘 | 札幌クラブ会長 | 柴田 伸俊 |
| ② ワイズソング・ワイズの信条 | | 全 員 |
| ③ 聖 句 | | x x x x |
| ④ 誕生日、結婚記念日 | | |

誕生日： 5月3日 宮崎 善昭君
 5月6日 柴田 邦子さん
 5月16日 宮崎 由美子さん
 5月18日 秋葉 康子さん
 5月29日 伏木 康子君

結婚記念日： 5月2日 秋葉聡志、康子夫妻
 5月7日 宮崎善昭、由美子夫妻

卓話

教会から見える札幌の国際化（仮）



札幌国際キリスト教会
主任牧師

池田 創造 氏

- | | |
|----------|-----------|
| ⑤ 諸報告 | |
| ⑥ YMCA報告 | 担当主事 佐藤雅一 |
| ⑦ 今月の歌 | 「アリラン」 |
| ⑧ 閉会点鐘 | 会長 柴田伸俊 |

何故この聖句を？ 中田靖泰

山上の垂訓上の1節です。数ある聖書の名句の中でも最も人に知られ愛されている句の一つではないでしょうか。同じ箇所をルカでは「とり」ではなく「からす」になっています。イエスが指したのが「とり」だったのかそれとも忌み嫌われている「からす」だったのか、楚々たる「白百合」だったのかそれとも人が見向きもしない「とげとげしいあざみ」だったのかなどと詮索せずに「空の鳥 野の白百合」と口ずさむだけで心が洗われる名句です。

札幌ワイズメンズクラブ4月例会報告

日時： 2019年4月16日（月）17:30～19:30

場所： 北海道101教室

出席者： 秋葉、佐藤、柴田、中田、宮崎

ゲスト： 中野川千香代（卓話者） 計 6名

北海道YMCA専門学校のカナダ語学研修を担当されている小野川さんをお招きしてお話しを伺いました。事前の周到な準備、現地のYやホストファミリーとの緊密な協力を通して参加学生が英語力だけでなく、異文化を理解し協力できる世界市民として成長していく姿を学ぶことが出来、感銘深い卓話でした。（p.3参照）



札幌ワイズメンズクラブ4月事務会報告

日時： 2019年4月23日（火）19:00～20:30

場所： 北海道YMCA 総主事室

出席者： 柴田、宮崎、伏木、佐藤、

欠席者： 秋葉、中田、

1. 5月例会、巻頭言、聖句

司会： 伏木 康

卓話者： 第一候補 池田創造さん

（国際キリスト教会牧師）

巻頭言： 宮崎善昭・・・原稿は中田会員へ

聖句： 伏木 康・・・原稿は中田会員へ

2. 北海道部次期役員（宮崎次期部長）に関して

部屋代確認 1時間/¥11,880x3時間=¥35,640

- ・大段幕は作らない・次期役員確認・出席者22名
- ・宴会出席者 20名・懇親会でのニコニコ募金をアジア大会の派遣ユース旅費支援とする。

3. 5月事務会 の日時変更

2019年5月28日（火）→24日（金）

3. その他：

▼アジア大会へユース送り付けの件

- ・候補者 杉山くん（専門学校生1年）
- ・登録費 25,000円 ・旅費 5～7万円
- ・北海道部の旅費支援は可能？6万円で予算計上

▼アジア大会参加者 柴田会員、伏木会員

▼6月例会日時変更

6月18日（火）→6月19日（水）に変更する。

カナダ研修について 札幌 YMCA 英語コミュニケーション専門学校 中野川千香代



本校では、毎年カナダ研修をモンリオール市において実施しております。この研修の目的は、英語力の向上と国際感覚を身につけ、異文化を理解することでよりグローバルな人材

を育てるということであります。

昨年は、3週間滞在者が6名、3カ月3名、6カ月3名の計12名が研修を無事に終えました。今回、準備から帰国後のフォローまでをご説明いたします。

まず、研修先のモンリオールをご紹介します。モンリオールは、ケベック州南部にありトロントに次ぐカナダ第2の都市で人口はおよそ350万人。観光名所としては、ノートルダム大聖堂。こちらは歌手のセリーヌ・ディオンさんが結婚式を挙げたことで有名です。ジョンタローマーケットはモンリオール最古の市場で、毎日新鮮な野菜や果物がきれいに陳列されています。セント・ジョセフ礼拝堂は小高い丘の上にあります、高さ97メートルの建物です。この礼拝堂から見る景色は市内を一望でき圧巻です。また、市内中心部にあるマギル大学は大変優秀な学生を輩出している大学で、構内にRedpath Museumという博物館があり、ミイラや恐竜の模型などが展示されています。また、イベントとしては国際花火大会、ジャズフェスティバル、F1など世界中からたくさんの観光客がこれらのイベントを目的に訪れています。

この研修の出発は8月下旬で3週間滞在者は9月中旬、3カ月滞在者は11月中旬、6カ月滞在者は2月上旬に帰国します。それぞれが違うご家庭にホームステイをし、YMCA International Language Schoolに通います。こちらの学校はモンリオールの中心部に位置し、英語の他にフランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、日本語などたくさんの言語学習を提供しています。授業は週5日、朝9時開始で1時間のお昼休みをさみ、午後3時半までです。午前中は文法を学習し午後は英会話や発音、資格試験対策、長文読解などの選択授業となります。クラスのレベルは8つに分かれており、入学日に筆記試験やスピーキングの面接試験で振り分けられます。経験豊富な講師陣を揃え、きめ細かい指導の授業内容となっております。



ノートルダム大聖堂

利用させてくれ、学生の中には週3回～4回、ジム通いをしている者もいました。本校の学生対応も、専属のカウンセラーが在中しており、様々な相談の人たちと触れ合うチャンスでもあります。

通学にはそれぞれの家庭から、バスや地下にのってくれます。週末には学校が企画するカナダ国内外の旅行やパーティーなどのイベントも盛んで、学生にとっては普段接することのない他のレベル（クラス）鉄を利用します。

バスは海外では珍しく定時に来ることが多く、地下鉄はいつも混んでいますが、4路線で比較的わかりやすく便利です。ホームステイ先のご家庭には多少のルールはありますが、基本カナダでは、18歳以上は大人と見なされるので、そこまで干渉してきません。ですので、一人ひとりが自覚を持ち、自己責任で物事の判断をする必要があります。日本にいれば周りの大人がカバーしてくれることも、カナダでは誰にも頼らず生活するため、自立と自律することが不可欠となります。

帰国後は、報告会を実施し、それぞれがパワーポイントを使用してカナダでの様子を発表します。昨年3カ月、6カ月滞在した者は英語で発表しました。写真などと共にカナダ生活がどのようなものだったかを、説明してくれました。この研修を通して、学生たちが英語力を伸ばし、人として



でも大きく成長していく姿を目の当たりにして、学校では学べない大切なことを体験することの重要性を強く感じています。そして、未来の日本あるいは海外で活躍する人材を輩出することを目標に今後もこのカナダ研修を引率していきたいです。

YMCA ニュース

担当主事 佐藤 雅一

第24回北海道YMCA国際ナショナル・チャリティーラン2019

日程：2019年5月12日(日)

場所：真駒内運動公園ジョギングコース

少し気温が低く肌寒い中ではありましたが、天気がよくとても気持ちよく走れる気候の中で行う事が出来ました。YMCA専門学校生、YMCA幼稚舎の園児とそのきょうだい・保護者の参加、アフタースクール、一般からの参加を含め、ランナーの総数が260名になりました。少しでも申告タイムに近づける様に一生懸命走っている姿や走り疲れて泣いてしまう子など思い思いにマラソンを楽しんでいました。YMCAのコースリーダーチームは今大会唯一の仮装をしたチームでした。Y'sメンズクラブの方々は参加者にホットコーヒーマービスコーナーを設けてくださり、気温が低かったので大変喜ばれておりました。



写真左：

ヨーイドン！！柴田会長が指導しているバスケットチームの子供たちです。

これからも、この大会の趣旨である障がいを持った子供達の応援プログラムとして継続して行い、毎年参加を頂いている方々だけではなく、広く呼びかけて支援の輪を広げて行きたいと思えます。札幌と言う地域にあるYMCAとして出来ることを見つけ、そこに賛同してくれる人々とつながり、障がいの有無などに関わらず誰もが良くなっていく社会を目指していきたいと考えます。天気の良い中で笑顔の絶えない北海道YMCAらしいチャリティーランとなりました。



写真上：益金279,500円をYMCAに寄贈する柴田札幌ワイズメンズクラブ会長

札幌国際キリスト教会



1984年、東アジアへの殿堂を目指すOMF(国際福音教会)によって設立されました。札幌市中央区北4条西11丁目にあり、日本語、英語、中国語、韓国語による礼拝を行っています。

池田創造牧師 主任牧師の池田創造氏のご父君は十勝ワイズメンズクラブの池田正勝ワイズです。創造氏はアメリカの神学校をでられ韓国、トルコ等でも伝道されていたと伺いました。(詳しくは当日ご本人から。)

北海道地名クイズ解答

いくつかお読めになりましたか？

- 初級： ▼ピラトリ 平取 ▼ウタシナイ 歌志内 ▼オトイネツプ 音威子府
 中級： ▼オンシャマンベ 長万部 ▼オトフケ 音更 ▼シムカッブ 占冠
 上級： ▼スツツ 寿都 ▼トドホック 樞法華 ▼オコッペ 興部

今後の活動予定 ～地域、部、クラブ、YMCA

▼第44回アジア・太平洋地域大会

日時： 7月19日(金)～21日(日)
 場所： 仙台国際センター

▼第22回東日本区大会

日時： 6月1日(土)～2日(日)
 場所： 国際立オリンピック記念
 青少年総合センター

▼札幌ワイズメンズクラブ

- 5月12日(日) 北海道YMCA
チャリティーラン コーヒーマービス
- 5月21日(火) 5月例会
- 5月24日(金) 5月事務会(変更)
- 6月1～2日 東日本区大会
- 6月19日(水) 6月例会(変更)
- 6月25日(火) 6月事務会

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかる。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。